

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例 情報	修正 使用 情報	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	CDC Press Release 2007年8月22日	米国疾病対策予防センター (CDC) と協力施設の科学者が マールブルグウイルス感染を特定することに初めて成功した。 マールブルグウイルスは、ヒトや霊長類に重篤な死に至ることも多い出血熱を引き起こす。コウモリがマールブルグウイルスを保有することが疑われていたが、証拠はなかった。この研究結果はPlos ONEに掲載された。この研究は、マールブルグウイルスの伝播についてより理解し、ヒトにおける感染拡大を予防・減少させる助力になると思われる。
												デング熱	ProMED-mail 20071001.3237	2007年9月30日、中国保健当局はFujian省Putian市で39例のデング熱症例が確定されたと発表した。ベトナムでは当局の発表によると、2007年のデング熱発生率は2006年の50%以上増加した。2007年9月24日時点で約68000名が感染し、内60名が死亡した。ハキスタンでは2007年9月26日、Karachiで新たに22名のデング熱症例が報告された。ラテンアメリカとカリブ海諸国ではデング熱の最悪のアウトブレイクが起こっている。
												デング熱	YAHOO!ニュース 2007年10月14日	台湾南部でデング熱が流行している。台南市当局によると2007年10月13日までに市内で511人の感染者が確認された。隣接する高雄市内でも2つの区で集団感染が発生しており、感染の広がりは過去最大規模である。行政と軍が協力して大規模な蚊の撲滅作戦を展開する方針である。
												日本脳炎	Epidemiol Infect 2007; 135: 974-977	2004年11月から2005年2月にかけて、日本の西部に位置する広島県の野生イノシシから血清25検体を採取した。日本脳炎ウイルス (JEV) に対する抗体検査を、IgMキャプチャー及びIgG酵素免疫測定法 (ELISA)、並びにブラーク減少中和試験により行った。17検体 (68%) がJEV中和抗体陽性だった。中和抗体陽性検体は全てIgG-ELISA陽性だった。1検体はIgMも陽性だった。約70%の野生イノシシが抗JEV抗体陽性であることが示され、この地域のJEV感染サイクルに関与している可能性が提示された。